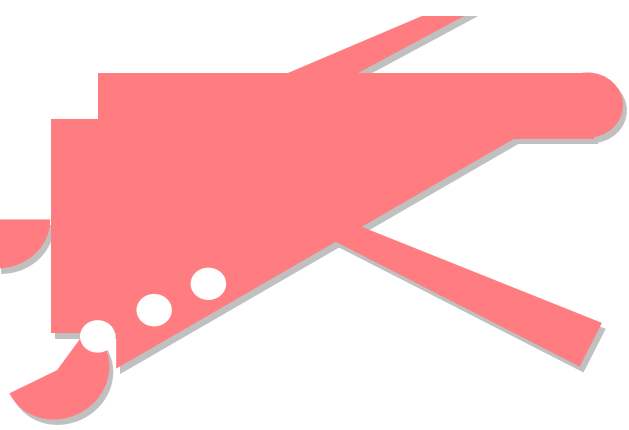




新人研修での学びと これから実践したい看護

4階病棟 看護師



新人研修での学び 印象に残ったこと

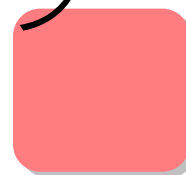
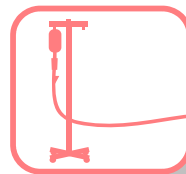
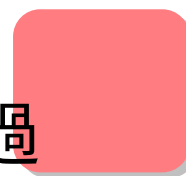
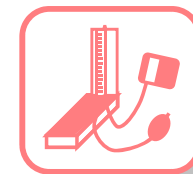
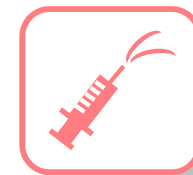
《医療安全、患者誤認防止の講義より》

対策

- KYT（危険予知トレーニング）
- 指差し呼称
- ダブルチェック

⇒ただし、ダブルチェックは、馴れ合い、誤遠慮、過配慮、過信頼などでチェック機能が働くなる可能性がある

- 根拠を持って援助をする
- 伝えただけで安心しない、患者さんにはオープンクエスチョンを用いる



新人研修での学び 印象に残ったこと

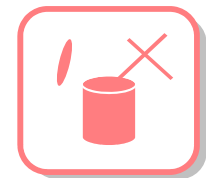
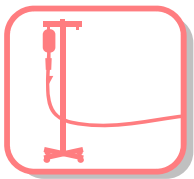
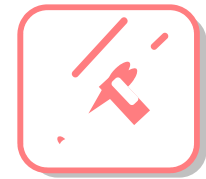
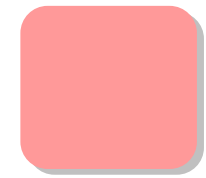
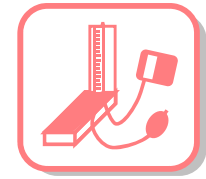
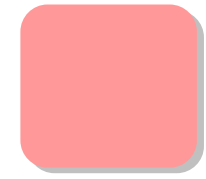
《体温調節の講義より》

患者さんが発熱

⇒ クーリング＝安楽

安全・安楽な援助

⇒ 根拠、解剖・病態を持って行う援助



看護観

これから実践したい看護

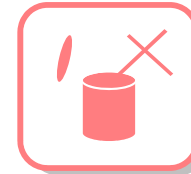
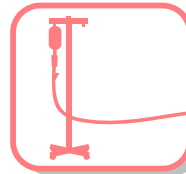
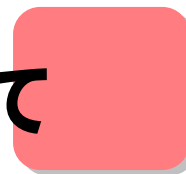
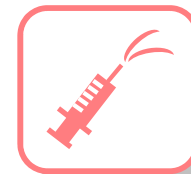
・患者さんは看護師という免許を持っている時点で信頼している。

⇒看護師としての責任がある。

・苦痛を訴えられない人にとって根拠のない援助。

⇒ただの苦痛を与える人間でしかない。

👉 根拠を持って、行動・援助をする。
自己研鑽をする。



これから実践したい看護

- ・相手の立場に立てる看護師
- ・倫理面に配慮した言葉遣い、行動
- ・笑顔で優しい声のトーン

